

# 地域活性へ 次の取り組み

柴北川を愛する会  
共助研

# 地域活性化の仕組

## ■ 地域活性の課題

その、問題になっている6つの課題解決を進めます

(1)・・・経済的基盤が弱いために補助金たより

(2)・・・地産商品の販売が不安定で弱い

(3)・・・農業従事者高齢化・担い手不足

(4)・・・耕作放棄地の増加

(5)・・・雇用環境がない為に

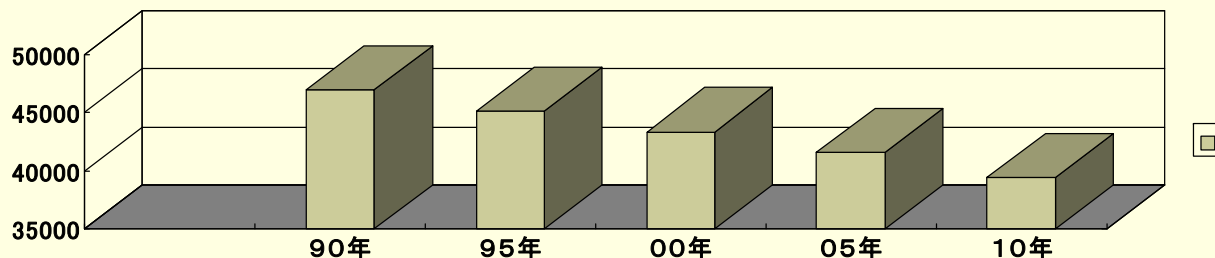
若者や30代の定着が進まない

(6)・・・情報化時代の道具を有効に使えない

# 大分県の現状と豊後大野市

- 人口(国勢調査)2010年度
- 豊後大野……39459人  
(20年で7575人減)

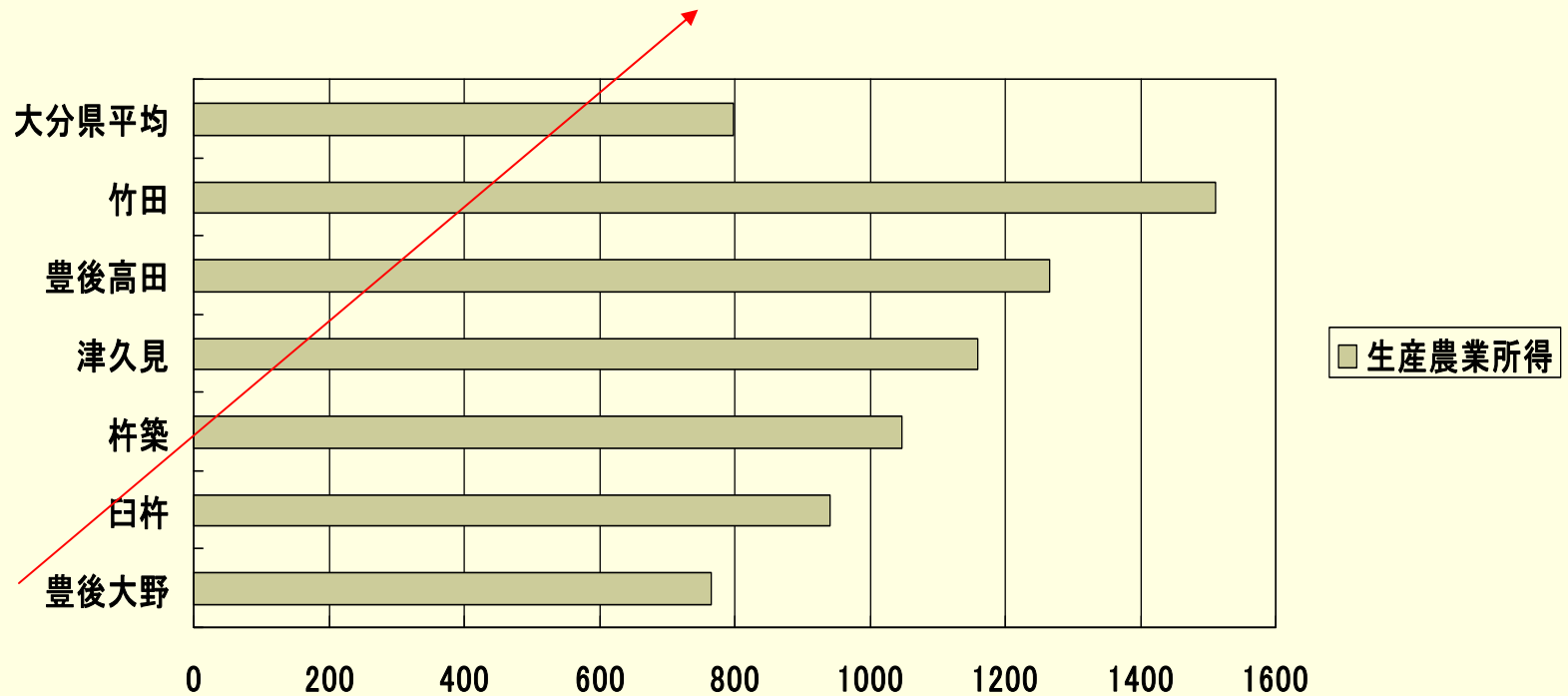
90年	95年	00年	05年	10年
47034	45191	43371	41548	39459



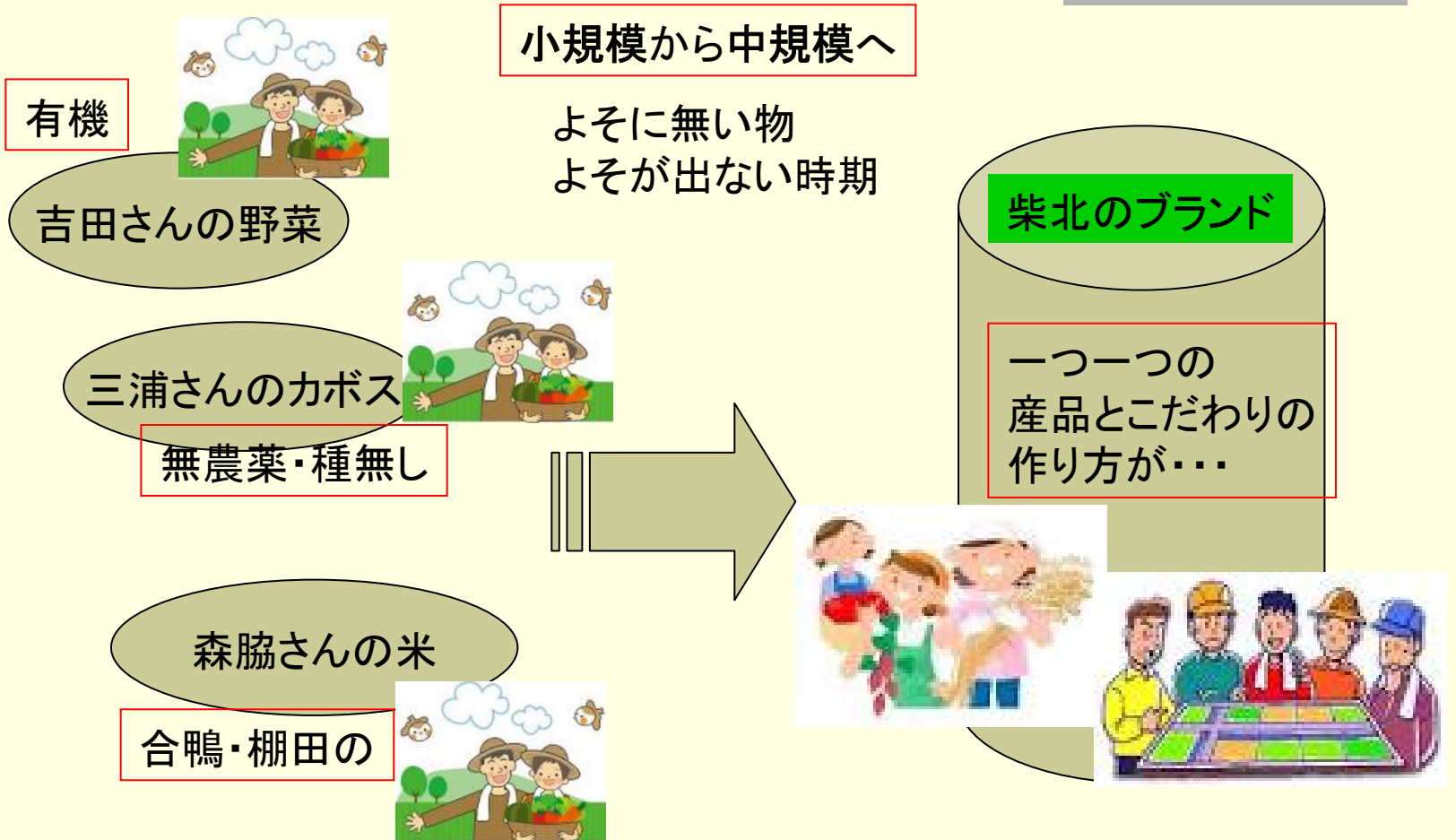
# 農業産出額( 06年 )

## ■ 農家一戸当り生産農業所得

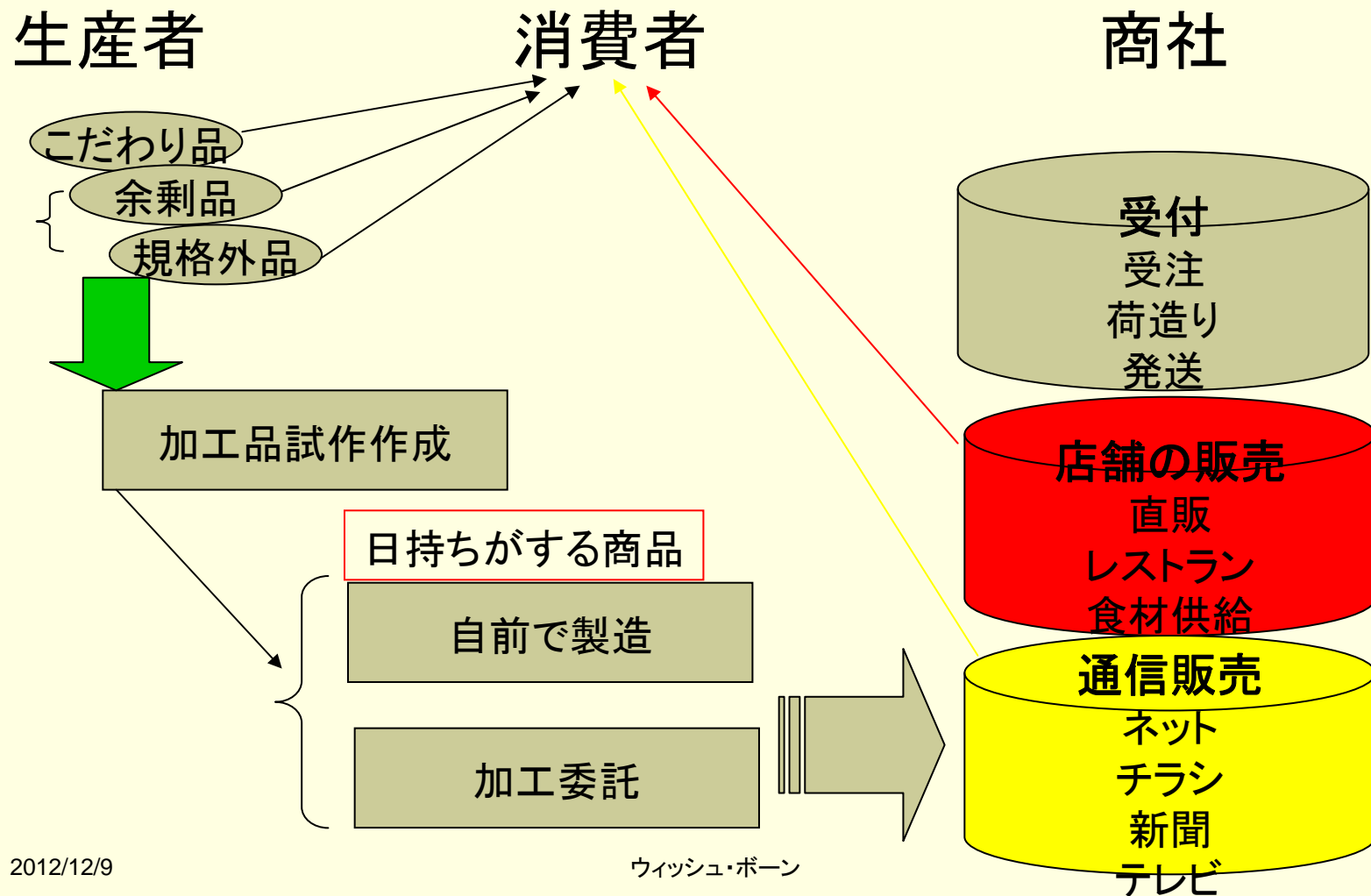
豊後大野・・・765千円



# 地域ブランドの見え方



# 流通の組立



# 現状分析と取り組み課題

- 展望：現在そして未来へ
  - お金を掛けずに人を集める仕掛け  
(柴北地区の活動の発展形・・・花街道プロジェクト)
  - 小規模から中規模への展開  
柴北ブランドとして地域ブランドを作り販売する。  
農産品と加工品の統一商品開発
  - 流通チャンネルの開拓  
お金に換える機会を増やすようにする。
  - 旅行や美味しい食事体験を出来るようになる
  - 広報・の作成と実行(知らせる仕掛け)
  - 資金調達と計画(3カ年計画)作り  
とそれに基づく単年度計画修正する

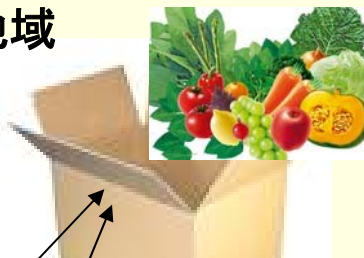
# 運ぶとお金も情報もまわる

何を作るといいのか？何時ごろ作るといいのか？

- 量の少ないものでも出荷できれば  
有機・無農薬・地域



農家婦人部



柴北の新鮮品  
セット



珍しい少量野菜



季節の野菜



農家青年部

情報入る  
お金入る

料理店に直接届く



四季の野菜リスト  
のカレンダー

注文

これとこれ頂戴



こう料理する



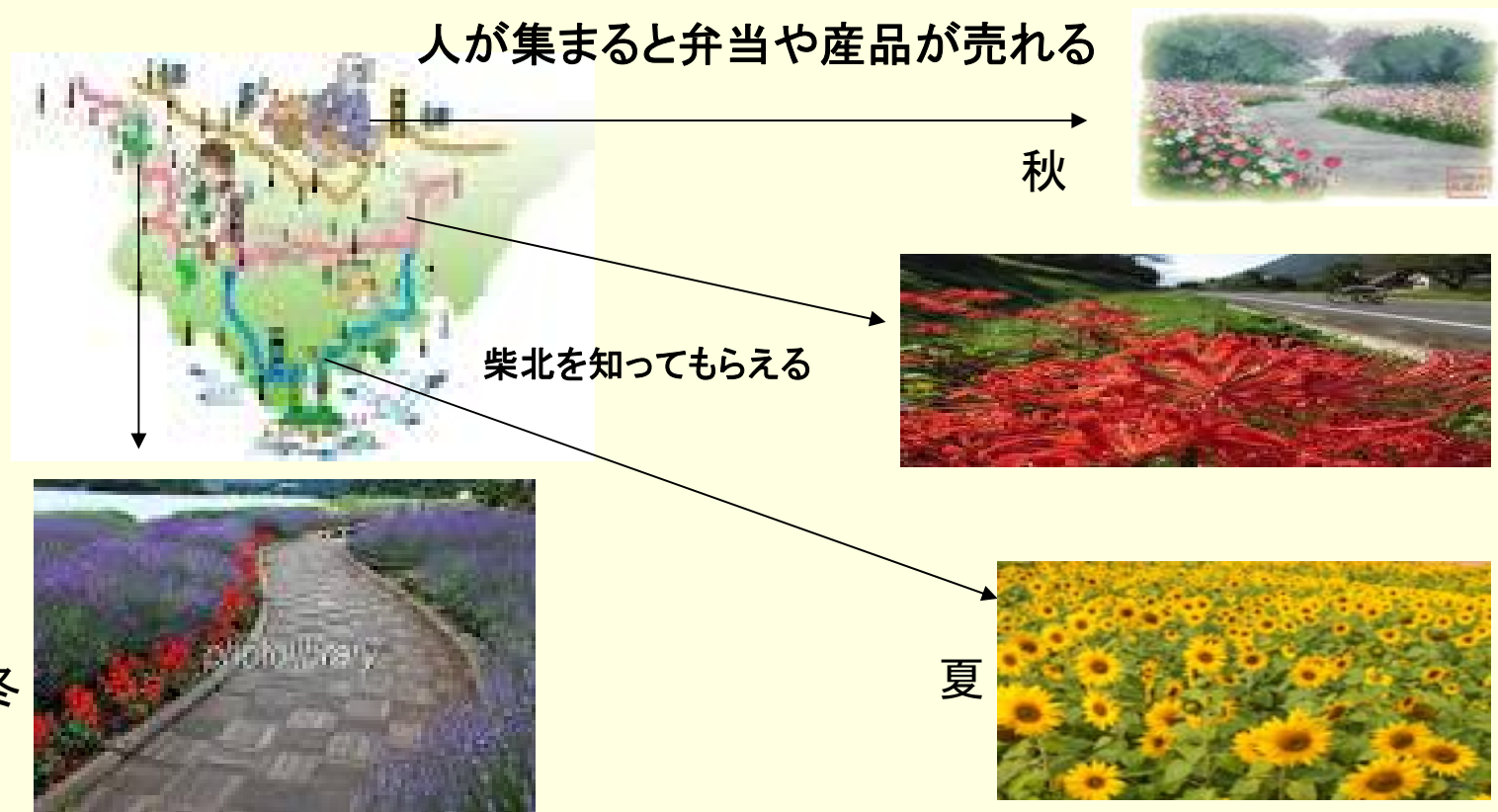


# 柴北独自のこだわり産品

- 他の地域でないモノ
- 差別化商品
- 農産物であれば無農薬・有機栽培・合鴨農法
- 特産品であれば昔からある伝統野菜
- 時期が他の地域で出来ない時期に採れる
- 加工品であれば地域で昔から作られていて  
他で見かけない商品  
(味噌・佃煮・伝統食など)

# 人が集まる(四季の花街道)仕掛け

## ■ 柴北の自然を生かした集客(バザー・マルシェ)



# 人が集まると色々できる

- 期間限定レストラン
- お弁当の販売
- 野菜の販売
- 竹の子の販売(ゆがいて売る)

既成の常識に囚われない商売ができる  
大分まで40分の距離が可能性を生む